

生田長江 評論家として活動しながら、女性の文学活動・社会運動を支援、精神遍歴を重ね、宗教至上に達して早世。

いくたちょうこう

新体詩抄・1882 = 鳥取県日野町貝原で、生田喜平治・かつの三男に生まれる。弘法大師にちなんで、弘治と名づけられる。

帝国憲法発布1889 = 7歳：武庫簡易小学校に入学。
帝国議会始・1890 = 8歳：根雨簡易小学校に転校。
足尾鉾毒始・1891 = 9歳：日野郡高等小学校に進み、

日清戦争始・1894 = 12歳：

日清戦争終・1895 = 13歳：卒業。家の農業を手伝いながら、近くの寺の和尚に漢籍を学ぶ。

白馬会・1896 = 14歳：次兄のあとを追って、大阪に出、

八幡製鉄始・1897 = 15歳：大阪桃山学院中学に編入学。

子規句歌革新1898 = 16歳：ユニバーサリスト教会で受洗。この頃、徳富蘇峰・内村鑑三を愛読。

Bushidou・1899 = 17歳：上京し、青山学院中学に編入学。

ビア国産化・1900 = 18歳：第一高等学校文科に入学。

{明星}に寄稿し始め、

教科書疑獄・1902 = 20歳：同級の森田草平らと回覧誌{タづつ}を出す。馬場孤蝶を訪ね、以後師事する。

日比谷公園・1903 = 21歳：{明星}にペンネーム用い投稿。東京帝国大学哲学科に進学。

日露戦争始・1904 = 22歳：上田敏らが創刊した雑誌「芸苑」の同人となり、

日露戦争終・1905 = 23歳：東京帝国大学哲学科を卒業。弁護士になっていた次兄が米子で死去。

満鉄発足・1906 = 24歳：*同誌上に「小栗風葉論」を発表、評論家として認められ、上田敏から長江のペンネームを貰う。

韓国反日暴動1907 = 25歳：亀田藤尾と結婚。与謝野鉄幹夫妻の隣に住み、晶子に英語を教える。成美女学校の英語教師となる。*馬場孤蝶・森田草平らと、与謝野晶子を中心とする{国秀文学会}を結成し、文芸思想を講じる。

アヲチ 創刊・1908 = 26歳：「自然主義論」を書いて、自然主義に共感を示す。生田春月を知る。

伊藤博文暗殺1909 = 27歳：ニーチェの「ツアラトウストラ」の翻訳に着手。紀州新宮に講演旅行し、佐藤春夫を知る。

大逆事件判決1911 = 29歳：「ツアラトウストラ」を刊行。*「国秀文学会」から出た平塚らいてう・山川菊栄らの<青踏社>の創立に際し、後援者として尽力。

明治天皇没・1912 = 30歳：島崎藤村ら多くの作家論を、「最近の小説家」にまとめて出版した。

大正政変・1913 = 31歳：長女が誕生。*「青踏社」の第1回講演。ダヌンツィオ「死の勝利」を翻訳出版し、ベストセラー。

第一次大戦始1914 = 32歳：森田草平と{反響}を創刊して、*堀利彦・大杉栄らと交わり、社会問題への関心を強め、

21ヶ条要求・1915 = 33歳：ニーチェ全集の翻訳に着手。

民本主義・1916 = 34歳：*自然主義文学を批判し、武者小路実篤らの<白樺派>文学を攻撃。

ロシア革命・1917 = 35歳：妻が病没。*堀の勧めで、初の脚本「円光」を執筆、小説「環境」、戯曲「八木節大流行」など多作。

本格政党内閣1918 = 36歳：マルクス「資本論」翻訳着手するも、第1分冊で終わる。劇団国民座で「円光」上演。

ベルサイユ条約・1919 = 37歳：郷里で長兄が死去。

大暴落・1920 = 38歳：「徹底人道主義」を出版。この年、伊福部兄弟が入門。

原敬首相暗殺1921 = 39歳：父が死去。

関東大震災・1923 = 41歳：「ブルジョアは幸福であるか」出版。震災で、蔵書・雑誌・写真のほとんどを焼失。

*やがて社会主義にも不満を抱き、

治安維持法・1925 = 43歳：ハンセン病悪化のため、鎌倉に移住。*評論集「超近代派宣言」を発表して「超近代主義」を主張。

円本時代始・1926 = 44歳：母が死去。

金融恐慌・1927 = 45歳：*「釈尊」を構想し始める。

世界恐慌・1929 = 47歳：「ニイチェ全集」全10巻完結。

海軍軍縮条約1930 = 48歳：東京に移住。{改造}に「釈尊」第1部を発表。

満州事変・1931 = 49歳：

五一五事件・1932 = 50歳：評論集「宗教至上」では、近代の克服を宗教に求めるようになり、

国際連盟脱退1933 = 51歳：病が重くなるなか、「釈尊」の執筆を続け、

帝人疑獄事件1934 = 52歳：*「釈尊」第2部を発表。失明するも、なお、口述で書き続け、

芥川直木賞始1935 = 53歳：第2部までを、創作「釈尊」として出版したところで、

二二六事件・1936 = 54歳：*没した。